

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	国語	グループ名	重度・重複学級（あか）	
ねらい	(1) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (2) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「こくご☆☆☆」東京書籍 「らくがき絵本 あ・い・う・え・お」ブロンズ新社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	お話を楽しもう①	14	○パネルシアター、紙芝居、絵本など ◆知っている言葉や絵等に注目したり、指さしたりできる。 ◆繰り返しの言葉が分かり、部分的に声を出すことができる。 ◆具体物のマッチングや教員や友達へ物の受け渡しができる。 □繰り返しの言葉や身近な言葉が出てくる話を扱う。 □物語に出てくる物の名前、動きを表す言葉など、いろいろな言葉の種類に触れるような題材を選ぶ。 □身振り手振りでお話の一部を表現できるように教材を準備する。	
6 7 9	お話を聞こう	18	○パネルシアター、紙芝居、絵本など ○具体物や絵、写真などと単語や文字カードとのマッチング ○線書き ◆簡単な指示や説明を聞いて行動することができる。 ◆簡単な事柄や思いがいろいろな言葉（サイン）や文字で表せることを知る。 ◆筆記具に慣れる。 □日常生活（挨拶など）や遊びに必要な言葉のやり取りを繰り返すことを通して、言葉に応じて行動できるようにする。 □映像や写真などを手掛かりに体験したことを思い出したり、思い浮かべた言葉と一致できるような教材を準備する。 □児童の実態に応じて、筆記具の太さや持ち方の補助に配慮する。	
10 11 12	名前を知ろう	20	○口形模倣・音声模倣・身体模倣 ○身近な物の名称の理解 ○具体物と絵や文字とのマッチング ○時間の経過（はじめ・おわり）の理解 ○シンボルマークや標識 ○線書き ◆音声模倣や身体模倣ができる。 ◆身近で日常生活に必要な言葉を理解する。 ◆複数の具体物と絵や文字カードの中から適切なものを一致させることができる。	

			<ul style="list-style-type: none"> ◆教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過の大体を捉えることができる。 ◆日常生活でよく使われる表示などの特徴に気付いてその意味に応じて行動することができる。 ◆筆記具に慣れる。 □簡単な手遊びなど、歌詞（言葉）と動作が関連しているものを行い、言葉のイメージを広げられるようにする。 □日常生活でよく使われる言葉や色や形などの概念に関連した言葉を扱うことで、動詞や形容詞の理解につなげられるようにする。 □絵本などの読み聞かせで、「初めに〇〇、次に〇〇」といった言葉を添えるようにする。 □校内や登下校などで使われる表示の意味を児童が知っている言葉や動作を添えて伝えるようにする。 □児童の実態に応じて、筆記具の太さや持ち方の補助に配慮する。 	
<p>1 2 3</p>	<p>お話を楽しもう②</p>	<p>18</p>	<p>○昔話や童謡を扱ったパネルシアターや紙芝居、絵本など</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、わらべ歌遊びなど節や動きを付けて行う遊びのやり取りをしたりして言葉の響きやリズムに親しむ。 ◆話の流れが分かり期待しながら見たり聞いたりすることができる。 ◆登場する物や動作などを思い浮かべて、発声や動作で表現する。 □昔話の語り始めや終わりの一部を真似したり、簡単な動作の伴うわらべ歌を行ったりして、自分でも表現できる経験が積めるようにする。 □繰り返しの話や展開が分かりやすい題材を選ぶ。 □お話に関連したペープサート等の具体物を用意して、内容をイメージしやすくし、発声や動作の表現をしやすくする。 	

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	算数	グループ名	重度・重複学級（あか）	
ねらい	(1) 数や具体物に興味・関心をもち、数量を数ええるなど、数の処理に関する基礎的な技能を身に付ける。 (2) 身の回りの事象の形・量について、簡単な言葉を用いて表現する力を養う。 (3) 算数で学んだことと具体物の関係に気付き、そのことを生活に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「さんすう☆☆☆」教育出版			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	数えてみよう ①	13	<input type="checkbox"/> 数に関するパネルシアターや絵本興味関心を高める。 <input type="checkbox"/> 数の数唱 ◆1から5の数を数えてみる。 ◆数の違いに気付く。 ◆教員の簡単な指示や説明を聞いて、発表したり、活動したりする。 <input type="checkbox"/> 具体物を用いて、数を数えるようにする。 <input type="checkbox"/> 発声やサイン、文字などを介して取り組む。 <input type="checkbox"/> 違いが分かりやすく、児童が興味をもちそうな物を題材に用いる。	
6 7 9	長い短いを知ろう	18	<input type="checkbox"/> 長い短いに関するパネルシアターや絵本等で興味関心を高める。 <input type="checkbox"/> 長い短いイラストから選んで貼ることができる。 <input type="checkbox"/> スライドで見本を提示するなど、長い短いを選びやすく提示する。 <input type="checkbox"/> 具体物の操作をして、長いと短いを比べる。 ◆空間の位置関係を理解する。 ◆比べ方を学習し、長い短いを理解する。 <input type="checkbox"/> 視覚的にわかりやすい教材を提示する。	
10 11	色や形の違いを知ろう	13	<input type="checkbox"/> 形に関するパネルシアターや絵本 <input type="checkbox"/> 丸・三角・四角の形の違いと形を表す言葉 <input type="checkbox"/> 赤・青・黄・緑などの色を表す言葉 ◆色や形の違いに気付く。 ◆色や形の属性に着目して仲間分けすることができる。 ◆色や形を表す言葉に親しむ。 <input type="checkbox"/> 見やすい大きさ、識別しやすい色、持ちやすい厚さの教材を提示する。 <input type="checkbox"/> 以前行った活動や内容を参考に、馴れ親しみ、積極的な活動ができるように教材を工夫する。	
12 1	数えてみよう ②	13	<input type="checkbox"/> 数に関するパネルシアターや絵本 <input type="checkbox"/> 数唱に合わせて具体物を操作すること ◆パネルシアターなどを、興味をもって見聞きし、数を表す表現に親しむ。 ◆数唱に合わせて具体物を取ったり、置いたり、貼ったりすることができる。	

			<input type="checkbox"/> 前期の活動を発展させながら、更なる定着を図る。 <input type="checkbox"/> 簡単なゲームなどを通して楽しく数に親しむことができるようにする。	
2 3	買い物ごっこ をしよう	13	<input type="checkbox"/> 模型やカードを見て、指示された数の物を少し離れた所から持ってくること <input checked="" type="checkbox"/> 物の種類や数に着目して選択することができる。 <input type="checkbox"/> 個々の理解度に合わせて、課題の提示方法を変えていく。	

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	音楽	グループ名	第5学年	
ねらい	<p>(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音や音楽に楽しくかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○久永明日葉 竹部裕貴 掛田牧子 宮本充 西澤隆子 舘叶佳			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「おんがく☆☆☆」東京書籍			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	音色やリズムを意識して表現しよう	15	<p>○歌唱「歌えバンバン」「手のひらを太陽に」</p> <p>◆小学部高学年を意識して、自分で声を出したり、ハンドサインをしたりして歌う。</p> <p>◆リズムを意識して歌ったり、ハンドサインをつけたりする。</p> <p>□歌詞に合わせたハンドサインをつけ、児童の実態に合わせて表現できるようにする。</p> <p>○器楽「カルメン」〈使用楽器〉（身近な打楽器などを含む）トライアングル、カスタネット、レインスティック、タンバリン、シンバル</p> <p>◆伴奏や周りの演奏を意識して、色楽譜を見ながらいろいろな楽器で曲の一部もしくは全部を演奏する。</p> <p>□音色、強弱、リズムの違いや、楽器の役割を感じながら音を鳴らす。</p>	
6 7 9			<p>○音楽づくり「春がきた」「雨降り水族館」</p> <p>◆身近な素材を使った音遊びを通して、音づくりの面白さに気付く。</p> <p>□身近なものを叩いたり、振ったり、揺らしたりして音を出す。</p> <p>○身体表現「小さな世界」「風になりたい」</p> <p>◆教員の動きを模倣したり、教員や友達と一緒に身体を動かしたり、曲の速さ、強弱、リズムを感じ取って表現する。</p> <p>○鑑賞「雨降りシンフォニー」「星に願いを」「むしのこえ」</p> <p>◆教員の生演奏を見たり、聴いたりする。</p> <p>◆演奏や演奏楽器に注目しながら、曲の雰囲気を楽しむ。</p> <p>□パネルシアターや映像を見ながら、リラックスして楽しみ、多様な音楽に触れる。</p>	
10 11 12	テンポやリズムに合わせて表現しよう	10	<p>○歌唱「友達賛歌」「風も雪も友達だ」</p> <p>◆小学部高学年を意識して、自分で声を出したり、ハンドサインをしたりして歌う。</p> <p>◆リズムを意識して歌ったり、ハンドサインをつけたりする。</p> <p>□曲のイメージを理解できるように、写真や映像を提示する。</p> <p>○器楽「あきまつり」〈使用楽器〉和太鼓</p> <p>◆指示に従って、または自分から打楽器を鳴らす。</p> <p>□休符の時は、ばちを拍子打ちするなどして、休符やリズムを</p>	

			<p>意識できるようにする。</p> <p>○音楽づくり「ピクニック」</p> <p>◆声や身の回りの様々な音の特徴の面白さを知る。</p> <p>□身近なものを叩いたり、振ったり、揺らしたりして音を出してみる。</p> <p>○身体表現「トレロカモミロ」「羽ばたき祭演目のダンス」（創作ダンス、布を使用等）</p> <p>◆テンポやリズムや強弱を意識して、教員や友達と一緒に楽しく身体を動かす。</p> <p>□動きに合わせて言葉を掛け、タイミングを合わせて踊れるようにする。</p> <p>○鑑賞「秋の演奏会」「星の世界」等</p> <p>◆演奏楽器の音色や演奏方法の違いに注目しながら、曲の雰囲気を楽しむ。</p> <p>◆楽器や演奏の仕方の違いを感じて聴く。</p> <p>□パネルシアターや映像を見ながら、リラックスして楽しみ、多様な音楽に触れる。</p>	
1 2 3	曲の雰囲気を感じて心を込めて表現しよう	10	<p>○歌唱「気球にのってどこまでも」「校歌」</p> <p>◆小学部高学年を意識して自分で声を出したり、ハンドサインをしたりして歌う。</p> <p>◆リズムを意識して歌ったり、ハンドサインをつけたりする。</p> <p>□曲のイメージを理解できるように、写真や映像を提示する。</p> <p>○器楽「チョップステッキ」「ゆきのおどり」〈使用楽器〉（身近な打楽器などを含む）キーボード、木琴、タンバリン、ベルハーモニー、ウッドブロック</p> <p>◆曲の雰囲気を感じ、演奏する。</p> <p>□テンポが分かりやすいように歌と指揮で提示し、友達と交互に音をならすようにする。</p> <p>○音楽づくり</p> <p>◆教員や友達と一緒に簡単な音をつくる。 「やまびごっこ」〈使用楽器〉（身近な打楽器などを含む）鳴子、タンバリン等</p> <p>□曲想に合わせて演奏方法を変化させる。</p> <p>○身体表現「タタロチカ」（マーチ） 「春が来た」</p> <p>◆曲の雰囲気を感じて、友達と一緒に身体を動かしたり、元気よく身体を動かしたりすることを楽しむ。</p> <p>□いろいろな友達と関わることができるようペアを組んだり、大きな円になって踊ったりする。</p> <p>○鑑賞「越天楽」「さくら」等</p> <p>◆DVDや教員の生演奏、パネルシアター等を見聴きして味わう。</p> <p>◆演奏楽器の音色や演奏方法に注目しながら、曲の雰囲気を味わい、楽しむ。</p> <p>□日本の伝統楽器について知り、将来にわたり興味をもって見たり、聴いたりできるようにする。</p>	

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	図画工作	グループ名	第5学年	
ねらい	<p>(1) 形や色などの造形的な視点に気が付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 進んで表現や鑑賞に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○館叶佳 掛田牧子 竹部裕貴 宮本充 西澤隆子 久永明日葉			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「いろいろのほん」ポプラ社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	絵を描こう 交流学习をしよう	6 2	○国旗の配色を見て、画用紙や絵の具を使い、旗を作る ○消防車などの実物を見て、描いたり、塗り絵をしたりする ◆実物を参考に構図や配色を考えたり、工夫したりすることができる。 ◆感じたことや見たことから表したいことを思いつく。 □児童の実態に応じた描画材を使用する。	
6	色の重なりを楽しもう	8	○配色や構成を考えながら、モダンテクニックを使い作品をつくる ○絵筆やスポンジ等の描画材を使い、制作する ◆色の重なりや変化を楽しむことができる。 ◆色による感じた方や見え方の違いに気付く。 □児童の実態に応じた描画材を使用する。	
7	布を染めよう	6	○布に布用クレヨンやアクリルガッシュを使って着色したり、描いたりする ○布を絞ったり、丸めたりして着色をする ◆色の濃淡や明暗に気付くことができる。 ◆色の重なりや変化を楽しむことができる。 □画材が定着しやすい布を選定する。	
9	粘土で作ろう	8	○紙粘土やクレイ粘土などを使い、季節や行事に関する作品をつくる ◆粘土の感触を楽しみながら、ちぎったり丸めたりすることができる。 ◆自分が表現したいことにあわせて形をつくることができる。 □児童が扱いやすい粘土の種類を選定する。	
10	道具を使って作ろう	8	○金づちや釘、ねじなどを使って制作する ◆安全に木に金づちでくぎを打ち込むことができる。 ◆自分で作りたいもの考え、発想や構想をして材料を組み合わせることができる。 □安全に道具が使えるように、道具の置き場所や持ち方など視覚的に分かりやすくする。	

11	みんなであつくろう	8	<p>○友達と協力して、紙や段ボールに着色する</p> <p>○友達と協力して、着色した素材を組み合わせる</p> <p>◆題材を基に表したいことを思いつく。</p> <p>◆色や素材の組み合わせを楽しむことができる。</p> <p>□児童がお互いの活動を見合えるような座席位置を工夫する。</p>
12	組み合わせてつくろう	6	<p>○土や砂、石、草木などの自然物を接着剤で組み合わせ、季節の飾りをつくる</p> <p>◆自分が表現したいことにあわせて形をつくることができる。</p> <p>◆接着剤を安全に正しく使うことができる。</p> <p>□活動意欲がわくように身近な題材を設定する。</p>
1 2	形をかえてつくろう	12	<p>○アルミ、針金、プラスチックなどの素材を組み合わせ、立体作品をつくる</p> <p>◆教員と一緒にペンチなどの道具を正しく使うことができる。</p> <p>◆素材の変化を楽しむことができる。</p> <p>□補助具などを活用し、作業しやすい環境を設定する。</p>
3	一年間をまとめよう	6	<p>○学校生活を振り返り、コラージュ作品に表す</p> <p>◆自分の感じたことや思ったことから、色を付けたり、構成を考えたりすることができる。</p> <p>□写真を使い、その場面を思い返せるようにする。</p>

学 部	小学部	学 年	第5学年
教科等名	体育	グループ名	重度・重複学級
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>		
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子 宮本充 舘叶佳 西澤隆子 久永明日葉		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	「からだのえほん④ からだにもしもし」あかね書房		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5	体育発表会 をしよう	5	<p>○集団行動「集合」「整列」等</p> <p>◆全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。</p> <p>○徒競走「歩く・走る」</p> <p>◆競走意識をもってゴールまで走ることができる。</p> <p>○障害物走</p> <p>◆器具に応じて、くぐったり、またいだりすることができる。</p> <p>○身体表現</p> <p>◆動きを覚え、身体を大きく使って表現する。</p> <p>□笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。</p> <p>□ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。</p>
6	自分の身体 のことを知 ろう	6	<p>○スポーツテスト</p> <p>◆自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。</p> <p>□測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。</p>
7 9	水泳をしよう	8	<p>○水泳（水慣れ・顔つけ・バブリング・ポビング・バタ足・かえる足等）</p> <p>○水中ゲーム（輪くぐり・宝探しなど）</p> <p>◆ビート板やヘルパーを利用して、バタ足やかえる足で泳ぐことができる。</p> <p>□プールでは水底板を使用し、安心して活動ができるようにする。</p>
10 11 12	器械・器具を 使って運動 しよう	10	<p>○固定施設を使った基本的な運動（平均台）</p> <p>◆平均台などで、後ろ歩きや片足立ちができる。</p> <p>○器具を使った基本的な運動（マット⇒連続横転・前転など）（鉄棒⇒ぶら下がり・前回り下りなど）（跳び箱⇒跳び乗り・跳び下りなど）</p> <p>◆発展的な回転（後ろ転がり、連続前転など）ができる。</p> <p>◆支持した状態から体を前後に振ったり、前回り降りをしたりすることができる。</p> <p>◆ロイター板を両足で踏み切って、跳び乗りや跳び越しができる。</p> <p>□手や足を着く位置に印を付ける。</p>

			<input type="checkbox"/> タブレット端末等を使用し、体の動きを視覚的に示す。	
1 2 3	ボール運動	6	<input type="checkbox"/> 投げる・転がす・捕る・蹴る運動 <input type="checkbox"/> キックベース <input checked="" type="checkbox"/> 友達同士でキャッチボールができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 教員や友達に向かってパスをしたり、教員や友達からのパスを受けたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 得点を狙い、ボールを蹴ったり投げたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 柔らかく捕りやすいボールを使用する。 <input type="checkbox"/> 立つ位置を丸マットで分かり易く示す。 <input type="checkbox"/> 蹴る前にボールが転がないように固定する。 <input type="checkbox"/> チームごとに色分けしたゼッケンを着用し、チームの友達を意識できるようにする。	

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	体育（朝の運動）	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子 宮本充 舘叶佳 西澤隆子 久永明日葉			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「からだのえほん④ からだにもしもし」あかね書房			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	11	<input type="checkbox"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。 <input type="checkbox"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="checkbox"/> 競走意識をもってゴールまで走ることができる。 <input type="checkbox"/> 障害物走 <input checked="" type="checkbox"/> 器具に応じて、くぐったり、またいだりすることができる。 <input type="checkbox"/> 身体表現 <input checked="" type="checkbox"/> 動きを覚え、身体を大きく使って表現する。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6	自分の身体 のことを知 ろう	5	<input type="checkbox"/> スポーツテスト <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
7 9	継続して走 ろう①	12	<input type="checkbox"/> 周回走 <input checked="" type="checkbox"/> 一定時間止まらずに走る・歩くことができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	
10 11 12	継続して走 ろう②	20	<input type="checkbox"/> 10分間走 <input checked="" type="checkbox"/> ペースを保って走り続けることができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	
1 2 3	継続して走 ろう③	22	<input type="checkbox"/> 10分間走（グラウンド外周） <input checked="" type="checkbox"/> 速いペースで走り続けることができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	

学 部	小学部	学 年	第5学年
教科等名	体育(25分体育)	グループ名	重度・重複学級
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>		
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子 宮本充 舘叶佳 西澤隆子 久永明日葉		
年間授業時数	21 単位時間		
使用教科書	「からだのえほん④ からだにもしもし」あかね書房		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5	体育発表会 をしよう	2	<p>○集団行動「集合」「整列」等</p> <p>◆全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。</p> <p>○徒競走「歩く・走る」</p> <p>◆競走意識をもってゴールまで走ることができる。</p> <p>○障害物走</p> <p>◆器具に応じて、くぐったり、またいだりすることができる。</p> <p>○身体表現「津軽じょんからロック」</p> <p>◆動きを覚え、身体を大きく使って表現する。</p> <p>□笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。</p> <p>□ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。</p>
6 7	自分の身体 のこ を 知 ろ う	2	<p>○スポーツテスト</p> <p>◆自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。</p> <p>□測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。</p>
9 10 11 12	器械・器具を 使 っ て 体 を 動 か そ う	5	<p>○固定施設を使った基本的な運動（平均台）</p> <p>◆平均台などで、後ろ歩きや片足立ちができる。</p> <p>○器具を使った基本的な運動（マット⇒連続横転・前転など）（鉄棒⇒ぶら下がり・前回り下りなど）（跳び箱⇒跳び乗り・跳び下りなど）</p> <p>◆ロイター板を両足で踏み切って、跳び乗りや跳び越しができる。</p> <p>□手や足を着く位置に印を付ける。</p> <p>□タブレット端末等を使用し、体の動きを視覚的に示す。</p>
1 2 3	ボール運動	6	<p>○投げる・転がす・捕る・蹴る運動</p> <p>○キックベース</p> <p>◆友達同士でキャッチボールができる。</p> <p>◆教員や友達に向かってパスをしたり、教員や友達からのパスを受けたりすることができる。</p> <p>◆得点を狙い、ボールを蹴ったり投げたりすることができる。</p> <p>□柔らかく捕りやすいボールを使用する。</p> <p>□立つ位置をまるマットで分かり易く示す。</p> <p>□蹴る前にボールが転がらないように固定する。</p>

			<input type="checkbox"/> チームごとに色分けしたゼッケンを着用し、チームの友達を意識できるようにする。
通 年	保健	6	<input type="checkbox"/> うがい <input checked="" type="checkbox"/> 外から帰ってきたときにうがいをする習慣を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 手洗い <input checked="" type="checkbox"/> 外から帰ってきたときやトイレの排せつの後に手洗いをする習慣を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 体調管理、身体のこと <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体調の変化を感じ、教員に不調や怪我を伝える。 <input type="checkbox"/> 健康な生活、心の健康、病気の予防 <input checked="" type="checkbox"/> 健康な生活を送るために、健康な身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付ける。 <input type="checkbox"/> スライドや映像資料を用意する。 <input type="checkbox"/> 視覚的に分かる内容を用意する。

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	自立活動	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	(1) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する。 (2) 必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。			
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通 年	あいさつ なまえよび	70	○挨拶と名前呼び（人間関係の形成・身体の動き） ◆授業の始まりと終わりに、言葉掛けに応じて挨拶することができる。 ◆足をそろえる、手を膝にのせる、背筋を伸ばすなどの動作を言葉掛けや身体支援に応じて、自分から行おうとする。 ◆呼名に対して、発声や挙手で応じることができる。 □呼名の後に、児童の楽しめる活動を用意し、意欲を引き出す。	
	からだ		○いろいろな身体の動き ＜道具を使った動き、ストレッチ・リラックス＞ （健康の保持・身体の動き・心理的な安定） ◆膝這い、高這い、大股歩き、横歩き、腿上げ歩き、ジャンプ、ギャロップ、スキップ、膝立ち等の動きに慣れる。 ◆教員と一緒にストレッチの動作を行い、身体が伸びて気持ち良い感覚を感じることができる。 ◆体幹を強化する運動を行うことができる。 ◆外遊具で、大きく身体を動かす運動をする。 □リトミックの曲を使用し、曲と運動を関連させて、運動のイメージをもちやすくする。 □アイパッド等のスライドを使用し、視覚的にわかりやすい教材を使用することで、児童が見通しをもちやすくし、選択できるようにする。	
	あるく		○校内・校庭歩行（健康の保持・身体の動き） ◆友達や教員と一緒に、一列で順番を守って歩くことができる。 ◆身体のバランスを取りながら、階段の上り下りをする。 □絵カードを提示して活動の見通しをもてるようにする。アイパッド等のスライドを使用し、視覚的にわかりやすい教材を使用することで、児童が見通しをもちやすくし、選択できるようにする。	
	てあそび		○手遊び、触れ合い遊び、模倣遊び（コミュニケーション、人間関係の形成、環境の把握、心理的な安定） ◆身体部位への働きかけを受け止めることができる。 ◆教員や友達に手遊びをやってあげる。 ◆教員の動作を模倣することができる。 □児童の興味関心の高い曲や具体物を用いて、意欲を高める。	
	ゲームをし			

	よう	<p>○ゲーム活動<椅子取り、しっぽ取り、ボール送りなど> (環境の把握、コミュニケーション、人間関係の形成)</p> <p>◆簡単なルールを理解し、教員や友達と一緒に活動を楽しむことができる。</p> <p>◆順番を意識できる。</p> <p>◆やりたい気持ちを表現できる。</p> <p>□活動の始めと終わりが明確になるように合図や道具を工夫する。</p> <p>□児童が好きな曲を使ってやりたい気持ちを高める。</p>	
--	----	--	--

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	日常生活の指導	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	(1) 日常生活に必要な身辺処理の中で、自分でできる部分を増やす。 (2) 生活に必要な基礎的能力を高める。			
担当教員	○竹部裕貴 掛田牧子			
年間授業時数	434 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	新しい環境に 慣れよう	77	○新しい環境やトイレの場所、スケジュールを理解する。 ◆新しい教室や環境で日常生活の課題に取り組む。 ○学級集団の理解 ◆新しい教員や友達に慣れ、落ち着いて行動できる。 ○安全な学校生活 ◆日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 □児童の実態に応じて、シンボルや色テープ、実物提示等により自分の机やロッカー等が分かるように支援する。	
6 7	できることを 増やそう～朝 の会、帰りの 会、係の仕事 等～	78.5	○挨拶、スケジュール理解 ◆挨拶に慣れる。 ◆日常生活の大体の予定が分かり、部分的に見通しをもって行動できるようになる。 ○係の仕事 ◆自分の係仕事に取り組める部分を増やす。 □児童の実態に応じて係仕事を選んだり、スケジュールについて具体物を用いて提示したりするなどし、必要に応じて支援する。	
9	自分のことは 自分でしよう ① ～着替え、衣 服の着脱、荷 物の整理～	43	○着替えや荷物の整理 ◆立位で靴の履き替えを目指す。着替えで前後左右裏表を適切に着たり、衣類をたたんだりするなど自分でできる部分を増やす。 □児童の実態に応じて、手順を視覚的に提示したり、身体的に補助したりするなど個別に支援する。	
10	自分のことは 自分でしよう ② ～給食の身支 度、片付け等 ～	43.5	○給食の身支度、片付け ◆衛生的に給食の身支度、片付けを行える部分を増やす。 ◆配膳・下膳に部分的に取り組み、生活に役立つスキルを身に付ける。 □児童の実態に応じて、身体的に補助するなど個別に支援する。	
11 12	身の回りをき れいにしよう ～掃除～	78.5	○掃除 ◆台布巾を適切に絞ることができる。 ◆机拭きやごみ捨てなど身の回りをきれいにする習慣を身に付ける。 □児童の実態に応じて、課題を調整し、個別に支援する。	

1	清潔に過ごそう	39	<p>○手洗い、うがい</p> <p>◆石鹸を使って手洗いし、ハンカチで適切に手を拭くことができる。</p> <p>◆口に水をため、ぶくぶくうがいやガラガラうがいをすることができる。</p> <p>◆健康や安全に気を付け、身の回りを整える習慣を身に付ける。</p> <p>□児童の実態に応じて課題を調整し、視覚的に提示したり身体的に補助してやり方を知らせたりするなど、個別に支援する。</p>
2 3	きまりを守って生活しよう	74.5	<p>○集団生活</p> <p>◆「ありがとう」「ごめんなさい」等について言動で伝えることができる。</p> <p>◆活動の始まりや終わり、順番に並ぶこと、集団での活動を意識し、集団に自分の行動を合わせられる部分を増やす。</p> <p>◆友達と仲良くしたり、ルールを守ったりすることができる。</p> <p>□児童の実態に応じて、個別に課題を調整し、適切に支援する。</p> <p>□ヘルプマークについて知ったり気付いたりできるよう支援する。</p>
通年	<p>登校後（荷物整理、着替え、係活動、課題、朝の会）</p> <p>給食前後（準備、食事、片付け、教室）</p> <p>下校前（着替え、荷物整理、係活動、帰りの会）</p>	<p>含まれる各教科の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活 基本的な生活習慣、日課・予定、人との関わり、役割、手伝い・仕事、きまり、生命・自然 ・国語 聞く・話す（名前呼び） ・算数 数量（人数、出席調べ）、実務（暦） ・道徳科 節度・節制（予定の把握・身辺自立） 礼儀・感謝（挨拶、お礼） 規則の尊重（ルールを守る） 	

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童（生徒）の実態に応じた区分・項目を取り扱う
（合わせた指導の年計）

主な学習内容	○身の回りをきれいにしよう
自立活動【区分】項目	【身体の動き】姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

学 部	小学部	学 年	第 5 学年
教科等名	生活単元学習（学年）	グループ名	第 5 学年
ねらい	(1)身近な生活に必要な経験を重ねていく中で、基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2)教員や友達と協力して活動する楽しさを味わう。 (3)体験的な学習を通して、自然や社会との関わりや公共のルールやマナーを知る。 (4)単元の中で、複数の活動を経験し、活動できることを増やす。(プログラミング学習)		
担当教員	○西澤隆子 竹部裕貴 掛田牧子 宮本充 舘叶佳 久永明日葉		
年間授業時数	105 単位時間		
使用教科書	「くもんのせいかつ図鑑 お店カードー町のお店と公共施設ー」 くもん出版 「くもんのせいかつ図鑑 くだものやさいカード」 くもん出版 「自立生活ハンドブック 8 食（しょく）」 全日本手をつなぐ育成会連合会 「からだのえほん④ からだにもしもし」 あかね書房		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5	金メダルをめざそう	19	○新しい友達や教員と自己紹介やゲームをする ○整列したり、並んで歩いたりして友達と行動する ○簡単なルールのゲームをする ◆新しい環境に慣れ、身近な教員や友達と過ごす。 ◆自分や友達の頑張ったことを振り返る。 □ビデオや頑張りカード、メダルなどを用いる。 □簡潔なルールを設定し、視覚的に提示する。
6 7 9	水道について知ろう 移動教室に行こう	30	○水道施設を見学する ◆生活で使う水はどこから運ばれてくるのかが分かる。 ○移動教室のスケジュールを知り、しおりや絵地図を作る ○自分の荷物の整理や、物の保管について意識できるようにする ○友達と一緒に並んで安全に歩く ○公共の場でのマナーやルールを学ぶ ○入浴中の約束や入り方を知り、練習する ◆スケジュールをおおまかに理解して友達や教員と一緒に活動することができる。 ◆公共施設の利用方法やマナーを守り、安全に気を付けて活動することができる。 ◆教員や友達と手をつなぎ、落ち着いて目的地まで歩くことができる。 ◆横断歩道の渡り方や信号の見方等基本的な交通ルールを知る。 ◆入浴の手順を覚え、自分からできることを増やす。 ◆自然に関心をもちみんなと一緒に活動することができる。 □スライドや写真を用いて、移動教室のイメージをもつことができるようにする。 □手順を写真カード等で、視覚的に分かりやすく提示する。 ○50周年行事についての学習 ○イメージキャラクターの塗り絵等 ◆創立 50 周年の意味を知り、祝う気持ちをもつ。 ◆イメージキャラクターに親しみを持つ。
	50周年を祝おう		

			□50年の月日の変遷をビデオ等で示す。	
10 11	学習用タブレット端末を使ってみよう 羽ばたき祭を成功させよう	24	○学習用タブレット端末の活用方法（校外学習に向けて） ◆学習用タブレット端末の基本的な使い方を知る。 ◆写真の撮り方が分かる。 ◆いくつかのアプリを使うことができる。 ○教員の話聞き、発表内容や役割を理解する ○発表内容を練習する ○衣装や小道具の制作をする ○羽ばたき祭で買い物学習をする ◆羽ばたき祭の内容や流れを知り、見通しをもって活動することができる。 ◆自分の役割を理解して主体的に取り組むことができる。 ◆品物を選ぶ、お金を出す等の手順をイラストで示す。 □ビデオやパワーポイントを見て、発表の流れの見通しをもてるようにする。 □少人数の練習で、個々の動きを確認し、その後通し練習を行う。 □スライドやカードでスケジュールを確認する。	
12	外国語であそぼう 50周年を祝おう	7	○英語の歌や日常生活になじみのある言葉に親しむ ○ALTと一緒に簡単なゲームやダンスをする ○挨拶や自己紹介など、ネイティブスピーカーと英語を話す経験をする ◆スライドなどで内容や流れを知り、見通しをもって活動することができる。 ◆様々な国の言葉に触れ、外国の歌や踊りに親しみ、友達と楽しむことができる。 □絵や写真カードを使い、身近な題材から取り組む。 ○50周年行事についての学習 ○イメージキャラクターの塗り絵等 ◆創立50周年の意味を知り、祝う気持ちをもつ。 ◆イメージキャラクターに親しみをもつ。	
1 2 3	学校で働く人を知ろう 材料を買って、調理しよう	25	○栄養士さんの役割調べをする ◆栄養士さんの仕事内容と自分との関わりが分かる。 ◆給食に対する理解を深める。 □児童の実態に応じて取り上げる内容を変えるようにする。 ○出かけるときの約束を確認する ○学校の周りを安全に歩く ○約束を守って公園や店などの公共施設を使う ○衛生面に気を付けて、簡単な調理学習をする。 ◆ルールや順番を守って遊具で遊ぶことができる。 ◆公共施設の利用方法やマナーを知る。 ◆自分の役割を理解し、見通しをもって活動することができる。 □手順を写真カード等で、視覚的に分かりやすく提示する。 □衛生面に配慮し、少人数で行う。	

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童の実態に応じた区分・項目を取り扱う

学 部	小学部	学 年	第5学年	
教科等名	生活単元学習	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	<p>(1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。</p> <p>(3)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。</p>			
担当教員	○西澤隆子			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「くもんのせいかつ図鑑 お店カード一町のお店と公共施設一」 くもん出版 「くもんのせいかつ図鑑 くだものやさいカード」 くもん出版 「自立生活ハンドブック8 食（しょく）」 全日本手をつなぐ育成会連合会 「からだのえほん④ からだにもしもし」 あかね書房			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	季節の変化 を知ろう① 植物を育て よう①	6	○自然の観察や撮影、体験、季節の遊び ◆身近な草花、木、昆虫の名前を知ることができる。 ◆自然の変化が分かる。 □写真やビデオを活用する。 ○野菜や花の栽培 ◆植物を育てる経験をする。 ◆植物の成長が分かる。 □作業がしやすい用具を準備する。 □収穫や開花の時期を考慮する。	
6 7	季節の変化 を知ろう② 植物を育て よう②	8	○自然の観察や撮影、体験、季節の遊び ◆身近な草花、木、昆虫の名前を知ることができる。 ◆自然の変化が分かる。 □写真やビデオを活用する。 ○野菜や花の栽培 ◆植物を育てる経験をする。 ◆植物の成長が分かる。 □作業がしやすい用具を準備する。 □収穫や開花の時期を考慮する。	
9	植物を育て よう③	3	○野菜や花の栽培 ◆植物を育てる経験をする。 ◆植物の成長が分かる。 □作業がしやすい用具を準備する。 □収穫や開花の時期を考慮する。	
10 11 12	季節の変化 を知ろう③	9	○自然の観察や撮影、体験、季節の遊び ◆身近な草花、木、昆虫の名前を知ることができる。 ◆自然の変化が分かる。 □写真やビデオを活用する。	

	植物を育てよう④		<input type="checkbox"/> 野菜や花の栽培 <input checked="" type="checkbox"/> 植物を育てる経験をする。 <input checked="" type="checkbox"/> 植物の成長が分かる。 <input type="checkbox"/> 作業がしやすい用具を準備する。 <input type="checkbox"/> 収穫や開花の時期を考慮する。	
1 2 3	季節の変化を知ろう④ 動くおもちゃを作ろう	9	<input type="checkbox"/> 自然の観察や撮影、体験、季節の遊び <input checked="" type="checkbox"/> 身近な草花、木、昆虫の名前を知ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の変化が分かる。 <input type="checkbox"/> 写真やビデオ等を活用する。 <input type="checkbox"/> 風で動くおもちゃ作り <input checked="" type="checkbox"/> 風で物が動く様子を体験する。風の働き、強弱が分かる。 <input type="checkbox"/> 作る過程を簡易に分かりやすくする。	

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童の実態に応じた区分・項目を取り扱う